

令和7年度

教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	40	学校名	東濃実業高等学校
------	----	-----	----------

社会的役割等 (スクール・ミッション)	地域の産業教育を担う高校として 地域や企業、大学等と協働した主体的、専門的、実践的な学びを通して グローバルな視点で力強く生き抜く人材の育成を目指す学校		
学校教育目標 (教育方針)	◎地域の未来を創出する人材の育成 他者とのかわりを通して自己を見つめ、豊かな人間性を備えるとともに、確かな教養に裏付けされた専門的知識・技術を有し、地域の未来を見据えて主体的に学び続ける人材を育成します。		
3つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【G P】	・ 将来のリーダーに必要な、公共の精神と対話力・コミュニケーション力を身に付け、仲間と協力して課題解決することができる生徒（うごかす力） ・ 基礎学力を着実に身に付け、自分自身の将来を見据えながら自ら学び続ける意欲を身に付けた生徒（つなぐ力） ・ グローバルな視点で地域社会の将来を展望し、商業、生活産業の各分野で、スペシャリストとして活躍する力を身に付けた生徒（つくりだす力）	
	生徒をどう 育てるか 【C P】	・ 生徒一人ひとりの個性や適性に応じた学びを実現するためのカリキュラム編成ときめ細やかな指導の実施 ・ I C Tを活用し、自ら学び続ける意欲を持たせるための「主体的・対話的で深い学び」や「探究的な学び」の推進 ・ S D G sを意識し、変化する産業構造を見据えながら、地域の大学や産業界との連携、協働による実践的な専門教育を推進	
	どんな生徒を 待っているか 【A P】	・ 部活動や生徒会活動を含めた学校でのあらゆる活動を通して、自己を見つめ、仲間と協働し、人間性を高めようとする生徒 ・ 向上心を持ち、自ら学び続けようとする主体性のある生徒 ・ 商業・生活産業に関わる学習内容に興味があり、地域社会で活躍する「夢」に向かって努力する意欲のある生徒	
学校の抱える課題	・ 人間関係が希薄であり、コミュニケーションの苦手な生徒の増加 相手の気持ちが理解できない 集団になじまない ・ 学習習慣が定着しておらず、高等学校での学びに対応できない生徒の増加 日本語を理解できない生徒の増加 支援員不足 ・ 広報活動の充実 学校の魅力が中学生、保護者に伝わらない ・ 公共交通機関の廃止 通学の不便さ 志願者の減少 ・ 職員の多忙化の解消 制度は整ってきたが活用できない現実		
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標	
	生徒指導	うごかす力（心豊かな人間性）の育成 人権教育の推進を図り、他者との協同・協調活動を通じて、自他を大切にする。あらゆる活動を通じて、対話力・コミュニケーション力を高め、リーダーシップを醸成する。	
	進路指導	つなぐ力（自ら学ぶ力）の育成 基礎学力の定着を図り、将来を展望し、主体的・対話的で深い学びを通して、自ら学び続ける意欲を身に付けた生徒を育成する。	
	学習指導	つくりだす力（専門的知識・技術）の育成 商業、生活産業のスペシャリストとして将来活躍できる力を身に付けさせ、グローバルな視点で地域社会の将来を展望し、力を尽くすことができる生徒を育成する。	
	学校経営	R I S E 地域とともに挑戦し、学び、進化し、未来を創る 魅力ある教育活動の発信 生徒も職員も通いたくなる学校。	

年 度 目 標				年 度 末 評 価（自 己 評 価）			
領域 分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的な取組・方策	県教育振興 基本計画での 位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
生徒指導	教育相談の充実 ・生徒一人一人に寄り添い、心の成長や発達に繋がるよう支援	施策Ⅰ-1	年2回の教育相談週間の実施 SC、S相との連携強化 諸事案への早期対応				
	交通安全指導 ・職員・生徒の交通安全意識向上	施策Ⅲ-19	ヘルメット着用率の向上 MSリーダーズ加入者増加				
	校則の見直し ・社会環境の変化に適切に対応し、自ら判断し行動できる力を身につける	施策Ⅰ-7	生徒・保護者・地域に受け入れら れる校則				
	人権尊重の価値観や態度 ・認めて、褒めて、伸ばす指導	施策Ⅰ-2	心のケアや差別・偏見を意識し、 教育相談的な対応 あずさカードの発行				
進路指導	生徒の主体的で前向きな進路選択・決定のための支援 ・適切な情報提供を行い、学年に応じた段階的な支援	施策Ⅳ-23	進路に関するLHRの実施回数年間10 回以上				
	ポートフォリオの活用 ・学びの記録を見返し、進路選択と自己分析、自己実現をさせる	施策Ⅳ-24	進路希望100%実現				
	生徒が自己の在り方生き方を考えられる支援 ・ワークシートや進路の手引き、外部講師を活用したLHR	施策Ⅱ-13	ワークシートを活用し、生徒の意 識を確認する				
	全職員による支援体制 ・小論文、面接、インターンシップ、卒業生と語る会等の実施	施策Ⅰ-1	インターンシップ先からの評価及 び自己評価				
学習指導	授業力向上に向けての研修 ・公開授業の振り返り等を教員間で共有できる仕組みづくり	施策Ⅳ-26	各教科研究授業の実施（教科研究 授業・教科研修会の実施）				
	アクティブラーニング&生徒の言語活動を一層充実 ・生徒の学びの事実を分析・検討・協議し、有効な指導を考える	施策Ⅳ-23	授業評価アンケートで「授業に満 足している」90%以上				
	個別最適化を目指した学習指導 ・基礎基本重視と基礎学力定着。学習習慣の確立	施策Ⅱ-8	定期考査における成績不振生徒5% 以内				
	東実の魅力発信方法の研究、実践 ・ホームページの充実。SNSの積極活用	施策Ⅳ-20	志願者1.5倍（R7年度比較）				
学校経営	R 地域とつながり、支え合う学校 地域と”共創”する学び舎	施策Ⅰ-4	地域を知り、つながる努力 積極的情報発信				
	I 新しい時代を切り拓く力を育む 挑戦できる環境で、未来を創る力を育む	施策Ⅱ-10	ICT機器の積極的活用 探求活動の充実				
	S 何事にも前向きに取り組む力 挑戦心と困難に立ち向かう強さを育む	施策Ⅱ-12	地域の課題解決に向け共に解決策 を考える				
	E 人を支え、社会に貢献する力を身につける 自ら学び、他者にも力を与える人材へ	施策Ⅳ-20	ボランティア活動への参加 人権意識の向上				

来年度に向けての改善方策等

実施日：令和8年 月 日

学校関係者評価

実施日：令和8年 月 日